



種もみ消毒のポイント		青苗の手順												水 管理												主な作業												施肥基準		除草体系											
(塗抹処理法)		①育苗箱の準備												②床土の準備												③土入れとかん水												④浸種		⑤出芽(積重ね出芽)		⑥苗代での管理(緑化と硬化)		病害虫防除		ジャンボタニシ対策					
①種もみの準備		10a当たり 10a当たり 22箱用意する。 (乾もみ160g/箱) イチバンの800倍液に 瞬時、浸漬または散布。 (カブレに注意すること)												10a当たり 10a当たり 22箱用意する。 (乾もみ160g/箱) イチバンの800倍液に 瞬時、浸漬または散布。 (カブレに注意すること)												10a当たり 10a当たり 22箱用意する。 (乾もみ160g/箱) イチバンの800倍液に 瞬時、浸漬または散布。 (カブレに注意すること)												10a当たり 10a当たり 22箱用意する。 (乾もみ160g/箱) イチバンの800倍液に 瞬時、浸漬または散布。 (カブレに注意すること)													
②塗抹処理		●種もみ(乾もみ) 3.5kgを入れる ●葉液を入れる ・テクリードCフロアブル14ml ・水 91ml 肥料袋に入れてよく混ぜる (肥料袋はよく洗って使用する)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)													
③土入れとかん水		●種もみ(乾もみ) 3.5kgを入れる ●葉液を入れる ・テクリードCフロアブル14ml ・水 91ml 肥料袋に入れてよく混ぜる (肥料袋はよく洗って使用する)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)													
④浸種		●種もみ(乾もみ) 3.5kgを入れる ●葉液を入れる ・テクリードCフロアブル14ml ・水 91ml 肥料袋に入れてよく混ぜる (肥料袋はよく洗って使用する)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)												●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)		●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)		●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)		●種もみ消毒(はか苗病・いもち病等) 10a当たり 6~7袋用意する。 (1袋4~5箱)							
⑤出芽(積重ね出芽)		●最上段は、空箱をのせる。 ●被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。 ●2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。												●最上段は、空箱をのせる。 ●被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。 ●2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。												●最上段は、空箱をのせる。 ●被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。 ●2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。												●最上段は、空箱をのせる。 ●被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。 ●2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。		●最上段は、空箱をのせる。 ●被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。 ●2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。		●最上段は、空箱をのせる。 ●被覆するシートが箱に密着しないよう角材等をかう。 ●2~3日後、芽長が1cmになったら苗代に出し、緑化に移る。									
⑥苗代での管理(緑化と硬化)		●育苗シート等で、10日間程度被覆する。 ●箱の底が水につかる程度の水管理とする。 ●夜間、冷え込む日は、深水にする。												●育苗シート等で、10日間程度被覆する。 ●箱の底が水につかる程度の水管理とする。 ●夜間、冷え込む日は、深水にする。												●育苗シート等で、10日間程度被覆する。 ●箱の底が水につかる程度の水管理とする。 ●夜間、冷え込む日は、深水にする。												●育苗シート等で、10日間程度被覆する。 ●箱の底が水につかる程度の水管理とする。 ●夜間、冷え込む日は、深水にする。		●育苗シート等で、10日間程度被覆する。 ●箱の底が水につかる程度の水管理とする。 ●夜間、冷え込む日は、深水にする。		●育苗シート等で、10日間程度被覆する。 ●箱の底が水につかる程度の水管理とする。 ●夜間、冷え込む日は、深水にする。									
●塗抹処理で種子消毒を行った場合は、スミチオン乳剤(希釈倍率1000倍液)を硬化期~移植前日までに育苗箱1箱当たり500mlを散布してください。(イネシンガラセンチュウ防除)																																																			
●農業の使用に当たっては、有効年月以内の農薬を、ラベルの記載に従って使用して下さい。																																																			